袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会　議　名	令和５年８月 袋井市教育委員会　定例会
招 集 日 時	令和５年８月25日(金)午後１時30分
会 議 時 間	午後１時30分から午後３時15分まで（１時間45分）
場　　　所	子育てセンター　にじいろ
出　席　者	鈴木一吉　　教育長 鈴木万里子　委員 大谷純應　　委員 溝口知秀　　委員 吉田陽子　　委員 （計：５人）
欠　席　者	無し
傍　聴　者	無し
当局出席者	石黒克明　　教育部長 山本裕祥　　教育監 山本　浩　　教育企画課長 杉山明子　　子ども未来課長 小澤一則　　育ちの森所長 神田明治　　学校教育課長 中村悟史　　魅力ある部活動推進室長 大庭尚文　　生涯学習課長 小久江暁子　袋井図書館長 白澤　崇　　歴史文化館長 松井健尋　　教育企画課主幹兼教育総務係長 （計：11人）　　（合計：16人）
会議に付した事　　件	別紙「令和５年８月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」のとおり

令和５年８月　袋井市教育委員会定例会　日程

会　　議　　日　　程

日程第１　開　会
日程第２　会議録署名委員の指名
日程第３　会議録の承認
日程第４　教育長報告
日程第５　教育部月例事業報告
日程第６　議　事（会議に付すべき事件）

（１）協議事項

協第14号　『令和５年度９月一般会計補正予算について

（２）報告事項

報第101号　令和４年度　教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
報第102号　袋井市児童送迎バス　安全装置の設置について
報第103号　園務支援システムの導入について
報第104号　令和４年度における指定管理者の管理運営に対する評価について（笠原児童館ほか１施設）
報第105号　部活動の地域連携・移行に関するアンケートの結果について
報第106号　（仮称）袋井市こども交流館あそびの杜基本計画策定業務公募型プロポーザル選定結果について
報第107号　令和４年度における指定管理者の管理運営に対する評価について（月見の里学遊館ほか１施設）
報第108号　令和４年度における指定管理者の管理運営に対する評価について（メロープラザ）
報第109号　袋井市子ども読書活動推進計画（第４次）に基づく取り組みについて
報第110号　令和５年度 袋井市立袋井図書館の開館時間の変更について
報第111号　寄附品の受納について

日程第７　その他

（１）次回定例会等の予定について

９月教育委員会定例会

９月２９日（金）　午後１時３０分　袋井学校給食センター

（２）その他

日程第８　閉　会

１　開会
●教育長

２　会議録署名委員の指名
●教育長
鈴木委員　と　吉田委員 を指名

３　会議録の承認
●教育長
７月の臨時会及び定例会、第１回総合教育会議の会議録については、承認

４　教育長報告
●教育長
資料に基づき、主な内容を報告

５　教育部月例事業報告
●各課長
資料に基づき、各課長から主な事業を報告

６　議事
【協議事項】
協第14号　『令和５年度９月一般会計補正予算について

●教育企画課長、子ども未来課長、袋井図書館長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

●教育長
原案どおり、承認します。

【報告事項】
報第101号　令和４年度　教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

●教育企画課長
資料に基づき説明

●教育長

昨年度やってきた教育行政の推進について評価をする。自己評価をした後で、有識者の方々にご意見を聞いたということです。私が印象的だったのは、最終的に評価をもらうということではなくて、最初のチェックの段階から有識者に相談してくれるとありがたいという話をさせてもらいました。その時から携わってもらった方が、より中身についてのチェックができるという話です。安藤先生には以前からやっていただき、袋井の教育行政について、ある程度理解していただいているので、最初の段階から、こんな状況ですということで確認いただくような形に、来年度から変えていこうかと考えています。役割分担として、安藤先生は全体見ていただいており、松永先生は社会教育委員なので社会教育について、大根所長は静西教育事務所の方なので義務教育の部分を見ていただいています。この３名にお願いしていれば間違いはないものと思いますが、建設的なご意見をいただいています。今後はチェックをする段階から、有識者の意見をいただいていくべきかと思います。報告書が膨大なので、また見ていただければと思います。

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第102号　袋井市児童送迎バス　安全装置の設置について

●教育企画課長
資料に基づき説明

●教育長
小学校は設置義務対象ではありませんが、路線バスの代替なので、子どもたちの降ろし忘れ等の事故がないように設置しました。設置時期が７月の末になってしまって、一学期が終わってから設置しましたので、少し遅かったとは思っているのですが、設置業者がとても忙しく、全国でそういうニーズがあるので、何とかお願いして７月に設置してもらいました。来週から２学期が始まりますので、その時から稼働をさせていただき、安全確保を充分にしていただきます。バス運行管理業者にも説明しているので、バスの運転手さんもしっかりと処理対応していただけると思います。

［質疑・意見（要旨）］

●溝口委員
こういうことをやってもらって良いことだと思うのですが、これが袋井市なのか、教育委員会なのか分からないのですが、これを運用する中で、例えば、機械が壊れていないかとか、ちゃんと適正に使っているかというチェックする方法などは決めているのですか。

●教育企画課長
運行業者さんには運転日誌において、毎日チェックリストに基づきチェックいただいています。その中で、安全装置がちゃんと動くかどうか、チェック項目の中に入れさせてい

ただいて、チェックしてもらうような形をとりたいと思います。もし何かあれば、こちらへ速やかに連絡してもらうような形をとりたいと思います。

●溝口委員

それは分かります。ただ、自分は製造業の者ですが、製造業も同じようなことがあって、要は機械を使っているとケガをすることがあります。僕も機械を作っているところにいたんですが、例えば、プレスの機械があったら、両手でボタンを押さないとプレスが動きません。そうすれば手は挟みません。あるいは、ずっと動いている機械があれば、エリアセンサーがあり、ここに何か入ると機械が止まる、というものを必ず付けるんです。ところがケガが減らないんです。なぜかというと、作業が増えたり、やりにくいっていうのが絶対出てきます。だから、このバスも必ず今までよりも、チェックするという作業が増えるわけですね。そうすると、だんだん慣れてくると、スイッチを切ったり、壊れても直さないとか、必ずそういうのが出てきて、数年後に、付けているのになんで事故が起きたんだっていう話に、だいたいなるのが見えてます。なので、これを使っている人が毎日チェックするのは当然です。それから機械も壊れていないかチェックするのは当然なんですけども、それを時々本当にきっちりやれているかというのをチェックする体制もある程度考えておかないと、数年後、ちょっと怖いかなっていうのは思ってますので、そういうことを頭に入れておいていただきたいなと思います。

●教育企画課長

ありがとうございます。例えば、抜き打ち検査などの手段もあるかと思います。運行業者とはかなり密に連絡のやり取りしておりますので、その辺も懸念があるということも伝え、今後の運用に役立てていきたいと思います。

●教育長

バス運行においても色々なことがありますが、現場の大変さも私たちも理解をしなければならないと思います。やはり、これはちゃんと稼働しているかどうかっていう確認が必要ですし、ひょっとしたら、子供がイタズラをしてしまうかも知れませんので、そういうところについても指導していかなければならないと思います。ぜひ

事故が無いような形で運用して行きたいと思います。

報第103号　園務支援システムの導入について

●子ども未来課長

資料に基づき説明

●教育長

公立幼稚園とこども園に、iPadとiPhoneを全職員に配布するということで、画期的とは言わないまでも、そういう状況になるということです。余談ですが、図書館も早くこうなるといいなと思います。今回、５年分として５千万円上のお金を導入するということです

けど、５年後にはこの体制を継続しないといけないので、また更新が必ず来るということになりますけれども、園をより効率化して、子どもたちの教育に力を注げるような体制を作るということで、さらに良いシステムが出てくるかも知れませんが、こういった体制をずっと継続していくことが大切だと思います。

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第104号　令和４年度における指定管理者の管理運営に対する評価について（笠原児童館ほか１施設）

●子ども未来課長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］

●吉田委員
資料２ページの稼働率のところなんですけれども、平均が一日８．５人っていうのは、一つの施設を午前中から夕方まで開けておいて、一日８人しか利用しないというのはちょっと少なく感じるんですけれども、前年度より人は多く来たということなんですが、適切であるＡ評価にした根拠を教えてください。

●子ども未来課長
笠原児童館は笠原地域の方が見えるという状況があり、コロナ前につきましては、利用者が多くても一日10人とか12人でした。今回コロナという特殊な事情の中で、目標値を設置し、その目標値に達していますので、市の評価としては、Ａとさせていただいているものです。

●吉田委員
分かりました。ありがとうございます。

●教育長
たくさんの方に利用してもらうのもよろしいと思いながら、どの程度の数が一番いいのかということは、なかなか難しいかなと思います。ただ、やはりコロナ前の状況には、まだ戻ってないということで、少し利用があることを望ましいと思っています。児童館的なものは市内ではここしかないので、基本的にはもっとあってもしかるべきかと思いますが、地理的なものも含めて、他の地域からなかなか利用しに行かないのかと思います。また、もともと地元対策のようなものとして作られたという経緯があるため、そういった意味で地元の人たちに広く使っていただければと思います。利用者については、たくさん使っていただけるように、もっと面白いメニューをやればたくさん使ってもらえると思いますの

で、指定管理者にも伝えていただきたいと思います。

報第105号　部活動の地域連携・移行に関するアンケートの結果について

●魅力ある部活動推進室長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］

●鈴木委員
部活動の移行に伴う保護者の負担のところが、だいぶ考え方が違うというアンケートが出ていると思うんですが、やはり経済的な格差が部活動への参加に影響してくることが一番心配だと思うんですよね。今後、移行して行く段階で、ぜひその点を配慮してほしいと思います。やはりお金を出せるお宅もあるけど、出せないお宅も絶対いるので、出せない場合には諦めないといけなくなるということが一番心配です。

●魅力ある部活動推進室長
ありがとうございます。受益者負担については、資料31ページの年間スケジュールにもあるのですが、今後検討しなければいけないということで、受益者負担は当然あるべきかと考えていますが、委員がおっしゃられたような家庭もあるため、その点については協議会で諮って、いろいろな意見を聞きたいなと思っております。

●大谷委員
指導者の先生が非常に大変というか、現実には課題として感じるところが非常にたくさんあります。もし地域移行した時には、ほとんどの先生がこれ以上あまり関わりたくないと思っているということは、今大変な負担になっているのだろうと思います。
地域に下ろした時に、地域で先生に代わって担ってくださる方が、今先生が強いられて負担をどれぐらいご理解されているかと思いますし、先生と同じようにやってくださるかどうか、これを見ると、なかなかハードルが高いと。部活を指導されるというのはハードルが高いということが、如実に分かりました。

●教育長
魅力ある部活動推進室でスポーツ協会とか、いろんなところに説明したんですけど、やっぱり部活動のことをあまり知らないっていうのが、正直なところのようです。どういうことをやっているのか、先生がどれだけ大変な思いでやっているかというところは、よく分かってないようです。当然ですよね。タッチしていないものですから。それが分かったということと、先ほど鈴木委員がおっしゃったように、経済的に、家計が苦しいお宅が１万円毎月出してやらせるかというとなかなか難しいです。だけど、多分種目によって負担金が違ってきてしまいます。当然、指導者の値段も違うし、会場使用料も違うし、道具も違うとなると、種目によっても違います。そうすると、経済的支援が必要な子どもたちに

対して、どのレベルの家計の状況までということと、いくらぐらいまでということをどうしていくかっていうのは非常に悩ましいです。これが正解ってなかなかないというところもあるものですから。昨日も、教育委員会内で話したんですけども、基本的には受益者負担ですが、経済的に支援が必要な家庭に対しては一定の支援が必要だと思います。ただ、そこのレベルをどうするかっていうのはなかなか難しい話であるというところで終わっています。

●鈴木委員

それは私もそう思います。大変なお宅をどう支援していくか、子どもたちの可能性は伸ばしてあげたいなと思います。先ほど大谷委員がおっしゃっていましたが、私はちょっと意外だったんですが、部活動をやりたい先生が２割しかいないんだなと思いました。部活動をやりたくて教員になったっていう方がもっといるのかなって思っていたんですが、少ないなと思いました。

●魅力ある部活動推進室長

肌感覚ですが、自分たちの年代か、その下ぐらいは結構いるのかなっていう感じがするんですが、今の20代30代は、そこまで熱意があるかというのが一つクエスチョンマークがつきます。あわせて、自分もそうだったんですけど、得意な種目とか、自分が経験してきた種目で顧問やれるとなると、やはり熱量が変わります。自分が苦手だとか、関わったことがない部活に当てられることもあるので、そうすると、なかなか前向きに捉えられない時の自分もいた感じがします。放課後が来るのが嫌だと思ったときもありますので、そういったこともあるかと思います。実際に僕らは、部活動の顧問の方にも話を聞いて来ていますが、やはり今の種目だったら自分が指導できるので、すぐには任せなくても、自分でやってもいいかなという顧問が結構いたかと思います。逆に、今自分は得意じゃないとか、やったことがないので、すぐにでもやってほしい、地域の人がいればやっていただきたいっていうようなことをおっしゃる方も多かったので、現状はそのような状況かと思います。

●教育監

ただ教育的価値がすごく大きくて、本当に子供たちが伸びていくので、そのやりがいはすごくあります。教師の時間があって、自分の仕事をこなしながら、そういったことができれば続けるっていう人たちが多いんですけど、今は他の事を求められるので、両方やるとなると大変で、苦労に感じることになるのかと思います。部活動の価値を低いと感じているのではなくて、それをやれない状況があるということが一番問題だと思います。

●教育長

部活動の価値をそのままに、学校の外に出して、学校の外にお任せするっていうことはかなり厳しい面もあるかなと思います。教育的なものを、どうやってそのまま外に出して維持できるか、向上させるかというところは、よほどのことをしない限りしない難しいのではと感じます。今、実は水泳とかが一番やりやすい。スイミングクラブが発達してるので。昨日の話でもあったんですが、水泳と柔道と剣道はすぐにでも多分移行できる感じな

んですけども、その種目でさえ、負担金いくらにするかとか、経済的に恵まれない子はどうしましょうかって話になります。また、難しいのは、競技志向が強い子と、レクリエーション志向が強い子に分かれるので同じ受け皿でいいかなとかいう話にもなってくると、まだまだ検討しなきゃいけないことあります。多分、100人の要望に100通り答えられるかというと現実的に難しいと思うので、どこかで見切りをつけざるを得ない時に、かなり話し合いを重ねていって方向性を目指さないと、不平不満とかが残ってしまうので、できるだけ丁寧にやっていくっていうのが必要なんだと思います。国が３年間を改革推進期間と言ってますけれども、３年間にこだわらず、長くかかってもしょうがないかと思っています。また、経済的支援がどの程度のがいいかっていうのは、いい意見があれば教えてもらいたいです。我々も検討しますけれども、なかなかこれが一番悩ましいところです。

報第106号　（仮称）袋井市こども交流館あそびの杜基本計画策定業務公募型プロポーザル選定結果について

●生涯学習課長
資料に基づき説明

●教育長
基本計画を作るにあたって、ワークショップ等で市民の皆さんの意見を聞きながらまとめていきます。私も選定委員だったんですが、業者さんから面白い提案も出ていました。ラフ画みたいなものを作ってくれて、こういう形でやればいいのではないかという話があり、結構面白い内容でしたので、それがワークショップでいろいろ話が加わってくると、もっと面白い案になるかと期待しているところです。

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第107号　令和４年度における指定管理者の管理運営に対する評価について（月見の里学遊館ほか１施設）

報第108号　令和４年度における指定管理者の管理運営に対する評価について（メロープラザ）

●生涯学習課長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第109号　袋井市子ども読書活動推進計画（第４次）に基づく取り組みについて

●袋井図書館長
　資料に基づき説明

●教育長
　これは、総合教育会議で議論したところであります。これから、予算要求の時期に入ってきますが、少なくともシステムは入れましょうと、そこはなんとしても。この間、皆さんに言っていただいたので、市長も充分分かっていると思います。

　［質疑・意見（要旨）］

●鈴木委員
　この間の総合教育会議の後で、自分が関わっている２つの中学校の中学生に聞いたら、１つの学校は、３年間で１回も図書室に行った事がない子ばかりでした。なぜと聞いたら、読みたい本がないようなことを言っているのですが、実際にはあると思います。でもう１つの方は、国語のポップづくりとか、色々なところにも行っているし、夏休みの前にも貸し出しをしている。推進センターを作って、システムも必要なんですが、やはり利用する子どもたちにも、働きかけは必要なんじゃないかなとすごく感じました。総合教育会議の資料でも、貸出率の差があるのは、やはりそこだと改めて思いました。

●袋井図書館長
　貸出率について、年間で0.4冊というところもあれば、その10倍の４冊というところもあります。やはり私たちが行かせていただいて、図書室の環境を整え方が学校によって全然違うのは、先生のご努力によるものっていうのがあります。まず貸出率が少ない学校を上げていくためには、すぐに上がるわけではないので、地道な働きかけは必要かと思います。学校に行ってる職員も放送で紹介すると、図書館に来てどこに本ありますかという形で、放送したら来てくれたことがあったと聞いています。少しずつ、どの学校でも図書室が充実している形にしていかなければならないと感じています。

●大谷委員
　先生の存在は大きいと思います。そこの学校にすごい熱意のある方がいらっしゃるかどうかで、あるいは、学校全体として、比較的、図書室に対しての思い入れが強い方が揃っているといいんですが。だからやはり、もちろん保護者にもそうですし、お子さんにもなんですけど、図書館担当の先生だけではなくて、先生方全体に対しても全体的に、何とか図書室を利用することに向けて、意識改革して行かないといけないと思います。どこか一つだけではないと思います。親にだけ言ってもだめですし、子供にだけ言うのもだめですよね。

●鈴木委員
　調べもので使っていたんだけど、今はタブレットがあるので使わなくなり、ますます離

れているのですが、ぜひ呼び込みたいと思います。

●溝口委員

昔からどのくらい変わっているのか分からないですけど、今の学校の先生自体が、本を読んでるのかなと思います。子どもたちに読んでほしいという強い思いを持っている先生がどれだけいるのかと。それは減っているのか、昔からそうなのかよく分からないですが、先生自体も頑張ってほしいなという思いはあります。

●教育監

一番の原因は、やはり学校がギュッといろいろ詰まったところがあって、中学の場合は朝開けないじゃないですか。防犯の関係があって、鍵がかかっているんですよね。鍵を掛けざるを得ない状況があって、昼しか開けなくて、昼は15分しかなくて、その中にいろんなことで飛び回っている子もいる。帰りの会終了後の10分以内に活動場所に行くということになっているので、それはもうギチギチの中でやっているんです。その中でも、図書室に行きたい子供たちがいて、その時間は開室しているということで、本当に時間が限られています。朝読書をやっている学校があるので、一応朝に親しむことをやってるけども、なかなかそれ以上のところは難しい。給食の時間もギリギリで、早く食べましょうということになっており、学校の中のゆとりみたいなものが少なくなっており、着替える時間もない方がいいというくらいで、本当にもう少し間延びして、いろいろとできればありがたいなと思います。あと、教師は個人差があるので、昔はどうだったかというと、そういう先生もいましたが、先生方も一緒に本読んだりする時間もあった感じがします。

●吉田委員

先生の資質によって左右されるっていうのは本当は良くないんじゃないかなと思っていますが、先生方も他にやりたいことがある中で、図書室のことまでっていうと大変だから、やはりそこは推進センターなどで、市全体で面倒みるっていう形が大事ではないかと思います。

●学校教育課長

学校は、どんどん変わってきているので、今は朝読書のようなものはないです。それこそ８時に始まり、８時５分から授業ということを目指しています。教職員は、教材研究の時間も作らなきゃいけないし、いろんなニーズがあって、そういった中なので、自分が若い頃は、ある程度、量もちゃんと担保できていましたが、子供たちが読書できる時間が、もう学校ではなくなってきているので、現実を受け止めなきゃいけないなと思います。そうすると、どういう形でそこを補えるかってなると、今、吉田委員におっしゃっていただいたように、学校だけじゃなくて、そもそも家庭にもずっとお伝えしているんですけども、市全体で、より効率的に子供達が、本をパッと手に取れるようなシステムを作ることが喫緊の課題だなって思います。そういった環境を整える中で、子供たちの特徴、経験を豊かにするっていう発想していかないと、量をなんとかしようとしても限界だなと思います。それにあわせて、自分もスマホで読書するというのができないですね。すぐ疲れるし、読

んだ気がしないんですが、今の子供たちはそれで読んでいますので、そういうところですごいギャップを感じるんですが、でもそれを受け止めなきゃいけないのかなと思いますし、そういったところも踏まえて、いろんなところから考えることが必要だなと思います。

●溝口委員

今言われたように、確かに、学校の中で子供たちは本を読む時間っていうのはほとんどないということは、家で読むしかないんですね。ところが家にいくと、スマホへの興味が大きくなっちゃってるようなので、スマホとかタブレットで読むこともありだということで、だんだん考えながら、いかに家庭でというか、学校外で読書っていうのがスマホよりも優位になるように、どうやったら良いか。

●学校教育課長

読書というのは文化だと思うんですね。読書習慣もそうですが、本を読むということそのものが人間の文化だなと思うので、それをちゃんと子供たちに教えてあげたいなと。やはり一定の読書量を、学校の中で確保するってことは必要だなと思います。完全になしでいいものではないと思いますので、それを授業の中に見出すのか、どこで見出すのかというのは努力のしどころなんですが、でもスマホで読むよりも、生の本で読むということを、ぜひ教えたいなと思っています。好きな先生方が珍しいので、子供たちもかなり忙しいなって思。

●教育長

いろいろと議論は尽きないと思いますが、先ほども言ったように、先生方はだいぶ忙しいですが、子供たちもかなり忙しくなってしまっています。そういった意味で言うと、学校だけではなくて、家庭などいろいろな関係者で、やはり子供達に読書させる環境作りみたいなことをしなきゃいけないんだけども、小中学校で読書活動とか、図書館経営みたいな話が全く出てきてないっていうことが問題だと思っています。学校の図書室は必置ですが、必置にも関わらず、そこの経営っていうなかなかできていない。先生方にかかわらず、図書館の力を借りて、図書室をちゃんと活用しましょうとか、読書を推進しましょうみたいなことを少し柱立てしないと、学校は変わっていかないだろうと思います。それをやるのは先生ではなくて、図書館の方に来てやってもらったりするのはいいことだと思いますが、ちゃんと位置づけしないと進んでいかないだろうと思います。

●鈴木委員

教育長がおっしゃられたように、図書館としての経営は大事だと思っています。自分は国語の教師でしたが、国語科には必ずそれが指導内容の中に入っています。図書館には活用するような教材があるので、そこだけはやってもらいたいと思います。それと、先ほど時間がないということだったのですが、朝とか帰りの時間とかに閉まっている、そのちょっとした時間に行きたい子のために、誰か留守番でいて欲しいという意見を耳にしたことがありますので、読み聞かせのボランティアの方とかにいてもらうとか、そういった体制をとってもいいのかなと思います。

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第110号　令和５年度 袋井市立袋井図書館の開館時間の変更について

●袋井図書館長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

報第111号　寄附品の受納について

●教育企画課長、袋井図書館長
資料に基づき説明

［質疑・意見（要旨）］
なし

７　その他
（１）次回定例会等の予定について
８月教育委員会定例会
９月29日（金）午後１時30分～　袋井学校給食センター
（２）その他

８　閉　会　　（午後３時15分閉会）